

第5学年 国語科学習指導案

日出町立川崎小学校
指導者 廣石 ゆかり

1. 単元名 「新聞を読もう」 (「国語五 銀河」光村図書)

2. 単元設定の理由

(1) 児童について

本学級の児童は、4年生の「学級新聞をつくろう」で見出しや割付けを考えて新聞を書く経験をしている。しかし、日ごろから新聞を読んでいる児童は1割程である。学校の図書館などで新聞を読んだことがある児童も4割程であった。そこで、学校図書館の子ども新聞に目を向けさせたり、興味をもてそうな記事を紹介したりして、新聞を読める環境づくりをしてきた。文章表現が苦手な児童は、イラストや写真などの資料を表現の助けとしている。また5年の「言葉の意味が分かること」では、要旨をまとめて筆者の考えに対する自分の考えを伝える活動をしてきたが、要旨をまとめることを苦手とする児童もいた。グループ活動では積極的に交流しようとするが、全体場で自分の意見を進んで発言する児童は固定されている。

(2) 教材について

本単元では、言語活動として「書き手の意図を考えながら新聞を読む(感想スピーチ会)」活動を位置付けた。新聞は、読者に伝わりやすいように、見出しやリード文、写真・図表などが工夫され、記事も「逆三角形」といわれる構成でつくられている。ゆえに、見出しでざっと読む、関心のある部分だけを読む、関連記事を読む、論説や投書などを比べて読むなど、多様な読み方ができる。また、見出しやリード文を活用することで出来事の概要や論説の要旨などをすばやく把握することができる。そうした新聞の特性を生かして、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉え、分かったことや考えたことを伝え合うことに適していると考えられる。

本教材は、まず見出しやリード文、写真・図表などが工夫され、紙面全体の構成、編集の仕方、新聞用語や構成を知るのに適した記事が取り上げられている。次に同じ出来事について書かれた記事を読み比べることで、両者の違いやその意図の違いなどを考えさせることができる。また、興味のある新聞記事を読んで感想スピーチ会をする活動を通して、自分の考えをもつ習慣を形成していくことが期待できる教材である。

(3) 指導について

第一次では、まず学級の新聞アンケートの結果から新聞を読まない原因を示して新聞への興味をもたせる。実際の新聞には、どのような分野の記事が書かれているか調べていく。複数の新聞記事の1面を見比べて、気付いたことや疑問に思ったことを出し合い、学習課題を設定する。次に新聞の構成や記事の書かれ方を確認して、新聞の作りや工夫について分かったことをまとめていく。

第二次では、同じ出来事について書かれた全国紙と地方紙を読み比べ、気付いたことや相違点を出し合う中で、なぜ違いがあるのかを問うようにする。記事の違う部分だけでなく、論の進め方についても比較して、気付いた点をグループで話し合うようにさせる。二つの記事が誰に向けて書かれた内容であるかを問うことで、想定される読み手が異なることに気付かせたい。最後に、本時の記事に関連する複数の新聞を提示することで、地方紙は、その地域に限定した情報が多いことを実感させたい。

第三次では、自分が興味をもった記事を1つ選び、その内容を短くまとめ、自分の意見も付け加えて書かせたい。感想スピーチ会では、選んだ記事を見せながら、感想や意見を伝え合うようにする。この活動を通して、児童が自分の考えをもつ習慣作りにつなげていきたい。

3. 単元目標 複数の記事を読み比べて、発信者の意図の違いで内容や表現が違うことに気付き、見出しや写真の工夫などによる効果を理解しながら情報を読むことができる。

- (1) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C (1) ウ
- (2) 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 [知識及び技能] (1) カ
- (3) 事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C (1) ア
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」

4. 単元で取り上げる言語活動

書き手の意図を考えながら新聞記事を読んで感想を伝え合う。「感想スピーチ会を開こう」

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)ウ)

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 文章の構成や展開について理解している。 (1)カ	① 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 (C(1)ウ) ② 事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (C(1)ア)	① 進んで、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って、新聞記事を読もうとしている。

6. 指導計画(4時間)

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
一 (第1時)	○新聞の一面記事を基に、見出しやリード文などがどのような構成になっているのかを捉えながら読む。 ○実際の新聞には、どのような分野の記事が書かれているか調べる。	・新聞に関する学級アンケート結果から新聞を読まない原因などを観点として示し、新聞への関心を高める。 ・新聞記事は「逆三角形の構成」であることを確認する。	〔知識・技能①〕 ワークシート ・文章の構成についての記述の確認
興味をもった記事を選んで、感想スピーチ会を開こう			
二 (第2時：本時)	○桐生選手について書かれた全国紙と地方紙の新聞記事を読み比べ、なぜ違いがあるのか考えたことを話し合う。 ○山梨選手について書かれた複数の新聞を読み、論の進め方に違いがあることを知る。	・二つの記事の違いに着目して話し合うことで、違いがある理由に気付くことができるようにする。 ・関連のある新聞記事を示すことで、読み手の違いによって、新聞記事の論の進め方に違いがあることを確認する。	〔思考・判断・表現①〕 ワークシート・新聞 ・記事への書き込みと必要な情報を見付けて書き表したものの内容の確認
三 (第3～4時)	○小学生新聞を含む複数の新聞の中から、自分が興味をもった記事を選び、意見や感想を書く。 ○スピーチ会を開いて、自分の意見や感想を交流し、単元を通して学んだことを振り返る。	・最新の情報が掲載されている新聞記事(地方紙、全国紙、こども新聞)を共通の教材として取り上げるようにする。文章と写真または図表を結び付けて読む必要のあるもの、第1時で児童の関心が高かった内容に関するものなどを提示する。 ・前時までの学習を生かしてまとめられるように指導する。	〔思考・判断・表現②〕 ノート ・文章の構成を捉えて要旨を記述しているかの確認 〔主体的に学習に取り組む態度〕 観察・振り返りの記述 ・既習内容と結び付けて自分の感想や考えを記述しているかの確認

7. 本時案 (2/4)

(1) 題 目 二つの新聞記事を読み比べよう

(2) ねらい 論の進め方について、同じ出来事を扱った二つの新聞記事を読み比べたり、書き手の意図に着目させたりする活動を通して、内容の違いを考えることができる。

(3) 評価規準 二つの記事を比較し、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。

(4) 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
1. 前時までの学習を振り返る。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 前時に学習した新聞の1面記事の構成をワークシートで振り返る。 (見出し, リード文, 本文, 写真・図表など) </div> ○桐生選手の新聞記事を読んで、前時までに違う部分を見付けさせておく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> (めあて) 二つの新聞記事を読み比べよう。 </div>		
2. 二つの新聞記事を読み比べて相違点を出し合う。	○二つの新聞記事を読み比べて、違う部分に印を付け、気付いたことを出し合うようにさせる。 ・グループに1枚拡大した新聞記事を用意し、印を付けた部分をもとに自分の考えを出させ、相違点を記事で確認しながら板書に位置付けていく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> (課題) 同じ出来事をあつかった新聞記事なのに、なぜ内容がちがうのかな。 </div>		
3. 自分の考えを見直し、全体で伝え合う。	○発信者が何を伝えたいのかに気付かせるために、内容の違いについて考えさせる。 ・段落ごとのキーワードを見つけて、全国紙と地方紙でなぜ書かれている内容が違うのか自分の考えと理由を書くようにさせる。 ・本文を見直しながら、自分の考えを話し合うようにさせる。 ① 見出しから 「世界のスタートライン」「京滋が原点」 (手立て) 誰に向けて書かれているのかを考えさせる。 ② 本文から <u>全国紙</u> ・・・日本陸上界 10秒の壁, バンコク・アジア大会, 10秒00前後が決勝ライン, 日本勢 <u>地方紙</u> ・・・桐生選手のこれまでの経歴 滋賀で生まれ京都で育った, 彦根市立南中, 京都の洛南高, 彦根市立城陽小, 荒神山公園, 母校を訪れる, 洛南高校の監督, ふるさとの京滋を離れて4年 (手立て) なぜ内容に違いがあるのかを出されたキーワードをもとに考えさせる。 ・別の出来事について書かれた複数の新聞記事を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> (まとめ) ちがいがあある理由 1. 全国紙と地方紙で読む人がかわるから。 2. 書き手が読み手に伝えたい内容がちがうから。 </div>	二つの記事を比較し、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。〔思考・判断・表現①〕 (C (1) ウ)
4. 振り返りをワークシートに書く。	○二つの新聞を読み比べ、みんなで話し合ったことから確認して、ワークシートに書くようにする。 ・ワークシートに書き込みにくい児童へは、話し合いで出されたキーワードを示して書けるように声かけをする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> (ふり返し) 新聞を読み比べたら・・・ ・発信者(書き手)の意図によって、書かれている内容がちがってくるのがわかる。 ・見出しを見れば、読み手に何を伝えたいかがわかる。 </div>		